

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 4 月東北分
 (東北 6 県)」について

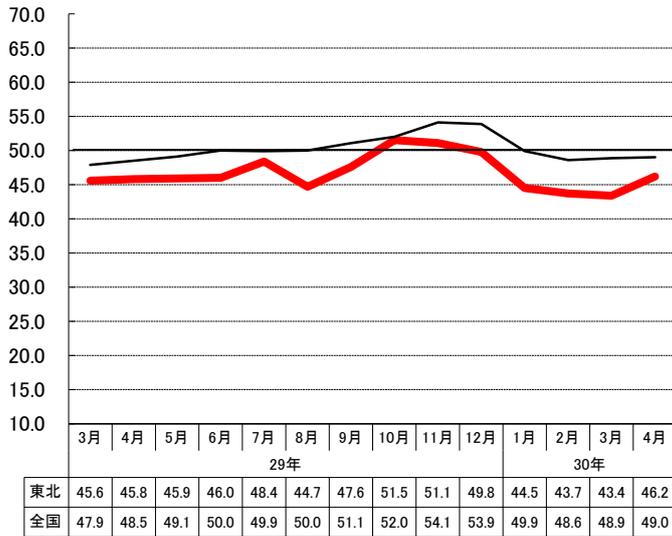
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 4 月東北分（東北 6 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「46. 2」と6ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+2.8 ポイントとやや上回った。

現状判断DIの推移

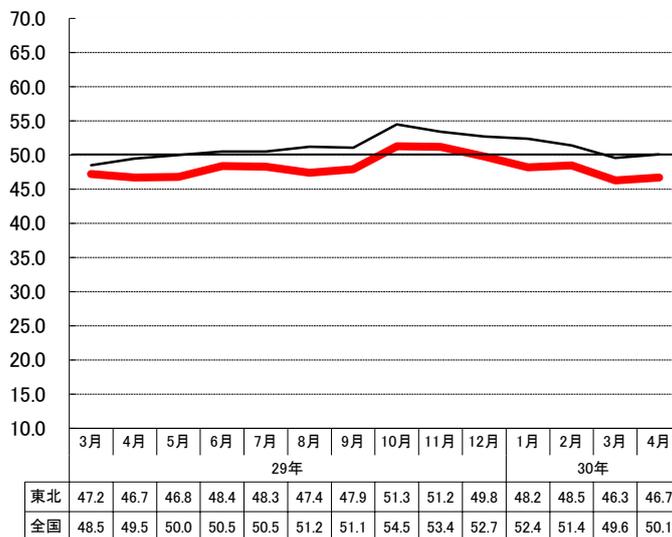


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月前の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「46. 7」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.4 ポイントとわずかに上回った。

先行き判断DIの推移



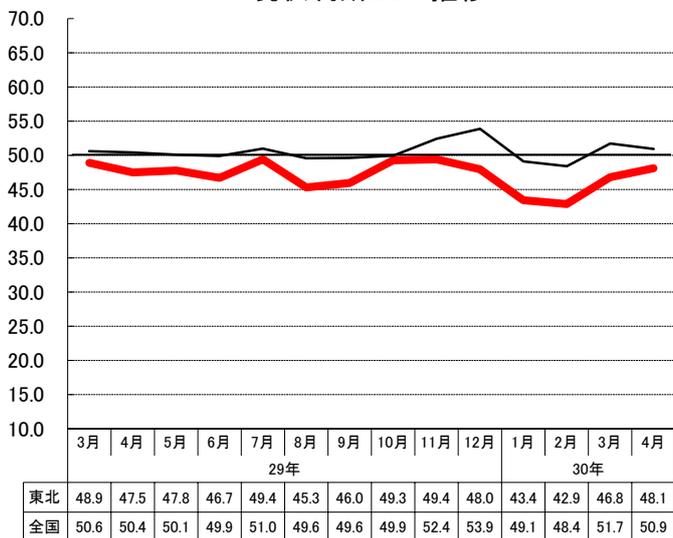
— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「48.1」と2ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.3ポイントとやや上回った。

現状判断DIの推移



— 東北 — 全国

・家計動向…住関連専門店、乗用車販売店、家電量販店、観光型ホテル等の業種でDIが前月を下回ったが、商店街代表者、一般レストラン、観光名所・遊園地等の業種でDIが前月を上回った。DIは「47.4」(+1.7)と2ヶ月連続で前月を上回った。

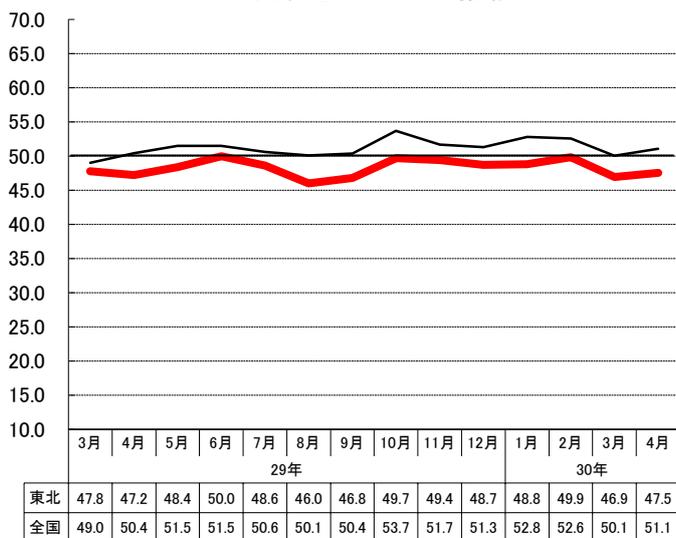
・企業動向…家具及び木材木製品製造業、金融業、広告代理店等の業種でDIが前月を下回ったが、出版・印刷・同関連産業、司法書士・経営コンサルタント、建設業、その他非製造業等の業種でDIが前月を上回った。DIは「49.3」(+2.7)と3ヶ月連続で前月を上回った。

・雇用動向…DIは「50.0」(▲3.9)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「47.5」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.6ポイントとわずかに上回った。

先行き判断DIの推移



— 東北 — 全国

・家計動向…旅行代理店、通信会社社員、その他専門店、高級レストラン等の業種でDIが前月を下回ったが、住関連専門店、スーパー、観光型ホテル等の業種でDIが前月を上回った。DIは「46.8」(±0.0)と前月から変化はなかった。

・企業動向…出版・印刷・同関連産業、金融業、その他非製造業等の業種でDIが前月を下回ったが、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは上回った。DIは「47.9」(+2.0)と3ヶ月連続で前月を上回った。

・雇用動向…DIは「51.3」(+1.3)と、5ヶ月ぶりに前月を上回った。

<参 考>

■DIの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）DI

	29年										30年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
東北現状	48.9	47.5	47.8	46.7	49.4	45.3	46.0	49.3	49.4	48.0	43.4	42.9	46.8	48.1
家計動向関連	49.2	47.4	47.0	45.5	49.1	44.4	46.8	48.5	48.5	46.4	42.0	40.9	45.7	47.4
企業動向関連	45.7	43.6	50.7	44.6	48.6	44.7	45.3	50.0	50.0	48.0	41.7	45.1	46.6	49.3
雇用関連(参考)	52.5	55.3	47.5	57.5	52.5	51.3	42.5	52.5	53.8	57.9	55.0	50.0	53.9	50.0

（2）先行き判断DI

	29年										30年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
東北先行き	47.8	47.2	48.4	50.0	48.6	46.0	46.8	49.7	49.4	48.7	48.8	49.9	46.9	47.5
家計動向関連	48.1	47.1	50.0	50.0	48.1	45.9	45.7	48.9	48.2	47.2	48.9	50.9	46.8	46.8
企業動向関連	45.7	44.3	44.6	48.0	47.3	45.4	49.3	50.0	48.7	50.0	45.1	45.8	45.9	47.9
雇用関連(参考)	50.0	52.6	46.3	53.8	53.8	47.5	48.8	53.8	57.5	55.3	55.0	51.3	50.0	51.3

※DI（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成30年4月25日～30日

回答者数 172/189名、回答率91.0%(全国1,821/2,050名、88.8%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：菅場 喜樹）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（旅行代理店）…国内の団体旅行、個人旅行商品が好調である。特に、北海道方面、大型レジャー施設商品がけん引している。

○「やや良くなっている」

（観光名所）…ゴールデンウィークは天候にも恵まれて順調な滑り出しとなっている。来客数もかなり増え、買物においても土産に加えて自分のものを購入するなど、購入点数が1～2品増えている。

（自動車整備業）…新年度に入ってから新しい案件の発生も多く、受注も好調である。

（金属製品製造業）…東京オリンピックに向けて、光学業界の新製品投入が活発になっている。

（建設業）…大型公共工事の業者決定により、一部の事業者の景気は上向き傾向にある。

（職業安定所）…人手不足を背景に、給与を増額するなど労働条件の向上に取り組む企業が増えている。

○「変わらない」

（商店街）…好天、雨天の違いによる来客数の増減幅が、今まで以上に大きくなっている。好天時の暖かさにより春物需要が増え、非常に良い販売量となっている反面、それ以外の天候時は余り伸びていない。

（医薬品販売店）…来客数は少しずつ減少している。人口が減少していることもあるが、天候にも左右されている。ただし、客単価や購入点数は上向きになっている。

（百貨店）…天候の影響により多少の変動はあるものの、購買動向としては依然として節約志向がみられており、低単価商材へのシフトや購入点数の低下に表れている。地域経済をみても、人口減少や高齢化など、外部的なプラス要因は見当たらない。

（コンビニ）…平昌オリンピック金メダリストの凱旋パレードの影響により、直前まで前年比マイナスであった売上が何とか前年を上回っている。ただし、これは特別要因であるため、今後に影響はないとみている。

（衣料品専門店）…来客数は前年並みで推移しているものの、スーツを購入する客が減少しており、客単価が低下している状態が続いている。

（酒類専門店）…4月の飲食店の動きが年々悪くなってきている。そのため、地元以外の地域での販売と専門店向けの特定商品に軸足を移す方針を取っている。

（ショッピングセンター）…年明け以降、好調な状態が続いている。客の購買意欲も順調のまま推移している。

（一般レストラン）…歓送迎会シーズンに伴い、地元客の宴会は例年どおりである。ただし、予約のない客は仕事や観光で来県した人達が圧倒的に多い。地元の人が動かないということは、経済的に余裕がないということである。そのため、いつもと変わらない状態が続いている。

（観光型旅館）…旅行会社窓口及びネット予約に関しては前年並みの申込みとなっているものの、直接予約に関しては、前年の半分以下に落ち込んでいる。原因としては、前年よりも千円増しで販売を行ったことによるものとみている。

（都市型ホテル）…新年度に入っても、一般宴会、婚礼部門の動きが鈍い。好調なのは宿泊のみであるが、台湾からのインバウンド客頼みとなっている。県や市の誘致の成果ではあるが、いつまで続くか不安である。

（通信会社）…ここ2～3か月において、特に大きな変化はない。今後は5G回線のための設備投資と格安端末の競争が始まるが、市場は様子見の状態である。

(美容室) …新規客の来客数、再来店率共に前年比 80%で推移している。新規客が増えない状況が続いている。

(住宅販売会社) …依然として契約までの期間が長く、少額の案件が多い。

(食料品製造業) …平昌オリンピック金メダリストの凱旋パレード効果もあり、地元駅周辺店舗の売上は良いものの、郊外店舗は苦戦している。

(電気機械器具製造業) …製品の市場価格が安定しており、業績も好調を維持している。大きな変化はないが、周囲の景気は良いとみている。

(輸送業) …業種により好不調はあるものの、全体的にはバランスが取れており、収入は安定している。

(金融業) …企業成績は良くなってきており、法人預金残高は増加している。また、融資を一括返済する企業も出ている。

(広告業協会) …年度初めのため、企業は例年広告費を抑え気味にスタートするが、今年は更に状況が悪化している。特に新聞広告は前年の売上を大幅に下回っている。

(人材派遣会社) …採用難易度が高く、企業の採用意欲が上昇しない。新卒市場も、競争激化から中小企業の採用活動領域を大手が侵食する形で悪い影響を与えている。

○「やや悪くなっている」

(家電量販店) …冷蔵庫などの販売量、単価が下がっているなど、白物家電が不調であり、前年を下回っている。全体的に白物家電の買換え需要が減退している。

(乗用車販売店) …少子高齢化や若年層の車離れにより、市場の縮小化が顕在化している。

(住関連専門店) …来客数がかなり減少しているため、売上に大きく影響している。

(木材木製品製造業) …業界全般的に受注量は鈍化傾向にある。住宅着工件数などの周辺環境からも、良い材料は見当たらない。

(新聞社〔求人広告〕) …依然として求人数の動きが悪い。来春の新卒募集状況において東北の主要企業は求人を増やしたいと考えているものの、首都圏への人材流出が止まらず、結果として中小企業には諦めムードが漂っている。

○「悪くなっている」

(スーパー) …前年春以降、エリア内に競合他社の新規出店が続いており、チラシ日替り価格の強化、ポイント、クーポンなどの販促競争が今までにないレベルで行われている。また、ドラッグストアの出店も相次ぎ、ドライグロサリー商品を中心に廉売合戦に拍車がかかっている。現状は各企業の体力消耗戦となっており、企業規模を問わず業績は悪化している。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(人材派遣会社) …求人背景としては、欠員補充よりも成長に向けた投資としての募集が多い印象であり、今後も同様の動きが続くとみている。

○「やや良くなる」

(スーパー) …購入点数、客単価共に堅調に推移しており、今後も同様の傾向が続くとみている。また、長期予報でも夏の気温が高いため、アイス、飲料、酒などの売上に期待がもてる。

(テーマパーク) …夏休み時期となるため、客の購入単価が高くなることを期待している。

○「変わらない」

(書店) …雑誌とコミックが全国的に非常に低調である。特に雑誌は書店が少なくなっていることもあり、低下に拍車がかかっている。また、メディアのあり方そのものが見直されているにもかかわらず変わらない状況が続く限り将来性は厳しい。さらに、通販がどこまでシェアを伸ばすか、電子書籍化によってどこまで影響を被るかが、最大の関心事である。

(百貨店) …景気が大きく変動するような要因は見当たらないものの、前年を踏襲するだけでは、売上は減少してしまう。客の心に響く施策を組立てなければ売上の増加は厳しく、世の中の景気上昇を待っているだけでは、前年確保も難しい。

(コンビニ) …高齢化により、毎日来ていた客が亡くなってしまふという事例が増えている。若者客が増えるということもないため、厳しくなっている。ただし、天候次第の面もあり、特に最近では天候の良し悪しで来客数に大きな差が出ている。これも高齢化の影響なのか。

(一般レストラン) …人手不足が慢性化しているため、思い切った商売ができないなどビジネスに非常に悪影響を及ぼしている。レストラン、居酒屋など、男女を問わず人が足りていない。

(観光型ホテル) …この先は気温も上がり、東北地域は観光シーズンとなるものの、旅行客は東北を通り越して北海道に行ってしまう。また、宴会部門も地元の企業が少ないことから、振るわないとみている。

(旅行代理店) …これから行楽シーズンが始まるが、良くなるような要因が見当たらない。限られた市場の中で、お互いの旅行会社が客を取り合っているため、いかに多くの客を取り込めるかにかかっている。

(食料品製造業) …販売量の前年比は 10~20%落ち込んだままとなっている。改善の兆しもみられないため、厳しい状況は変わらないとみている。

(木材木製品製造業) …全体的な景気に大きな変化はないとみているが、住宅につながる業界の景気は鈍化していくとみている。

(電気機械器具製造業) …製品市場価格は、2~3か月先でも大きな変化はないとみている。次世代の製品が市場に投入されるまでは大きく上向くことがないものの、現在の好調な状況を維持できる可能性はある。

(広告業協会) …大型イベントの予定も特筆すべき事象もなく、変わらない状況が続くとみている。観光客誘致や県産食材の広報、プロモーション活動に期待している。

(司法書士) …法務局の登記申請件数は減少傾向である、一方、戸建て住宅の取引件数は堅調に推移している。

(新聞社 [求人広告]) …首都圏への人材流出は、東京オリンピックが終了するまで続くとみている。東北の中小企業の活性化が急速に求められている。

(職業安定所) …求人数のうち、未充足のため更新された求人が 40%を超えている。また、水産加工や介護事業の新規設立のための求人がみられたが、人手不足の業種のため、求職者の動きに余り変化はみられていない。そのため、この先の景気も変わらないとみている。

○「やや悪くなる」

(商店街) …人手不足により、5月に1店舗が閉店する見込みである。高齢化、人手不足、空き店舗が深刻な問題となっている。

(衣料品専門店) …現在は比較的物価が高く、客からは購買意欲の低下が見受けられている。この先も安いから買うといった購買層は動かないとみている。

(建設業) …大型案件の発注形態が変わり、業者決定までの期間が延びることから、公共工事において秋口まで景気は下降するとみている。

(飲食料品卸売業) …景気が良くないなか、量販店や大手コンビニの進出により二重苦となっている。このままでは、地元企業の廃業が進んでしまうのではないかとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上